

1 上位関連計画における公共交通の位置づけ

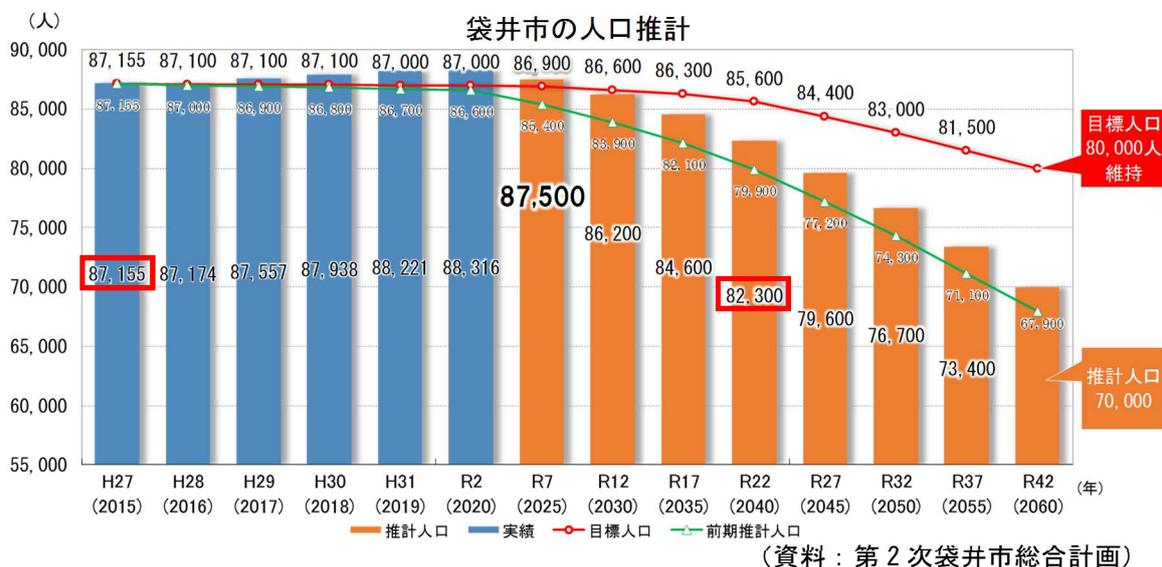
1-1 第2次袋井市総合計画（H27年9月策定）

●計画目的：各分野を網羅した施策群によるまちの将来像の共有と総合的な発展を目指す本市の最上位計画

●目標年次：平成28年度（2016）－ 令和7年度（2025）

●将来像：活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市

●目標人口：80,000人維持（令和42年）（推計人口：70,000人）



●関連する取組：

【公共交通に関連する取組】誰もが移動しやすいまちづくり

- ・日常生活の移動を円滑にするため道路整備を行い、利用しやすい公共交通と拠点ネットワークを構築

【公共交通に関連する基本方針】利用しやすい公共交通網の構築

- ・地域公共交通網形成計画に基づく、袋井駅を発着とする路線バスの維持
- ・市民・交通事業者・行政の一層の協力・連携による公共交通の維持・活性化
- ・各地域での地域協働運行バスの導入支援

※本資料内の表中の赤枠 は、計画書で引用している数値を表す

1-2 袋井市都市計画マスタープラン（H30年3月策定）

- 計画目的：本市の都市計画に関する基本的な方針（土地利用、道路・交通、環境・景観、自然災害対策）を定めた計画
- 計画期間：令和元年度（2020）－ 令和17年度（2035）
- 基本理念：住みたくなる 住んで良かったと実感できるまち
活力あふれるふるさと ふくろい
- 目指す姿：都市拠点・地域拠点・集落拠点をネットワーク*でつなぐ
ふくろい版多極ネットワーク都市構造（道路・公共交通・ICT等）

●公共交通に関連する基本目標：

ネットワークを利用し誰もがつながることができる都市づくり

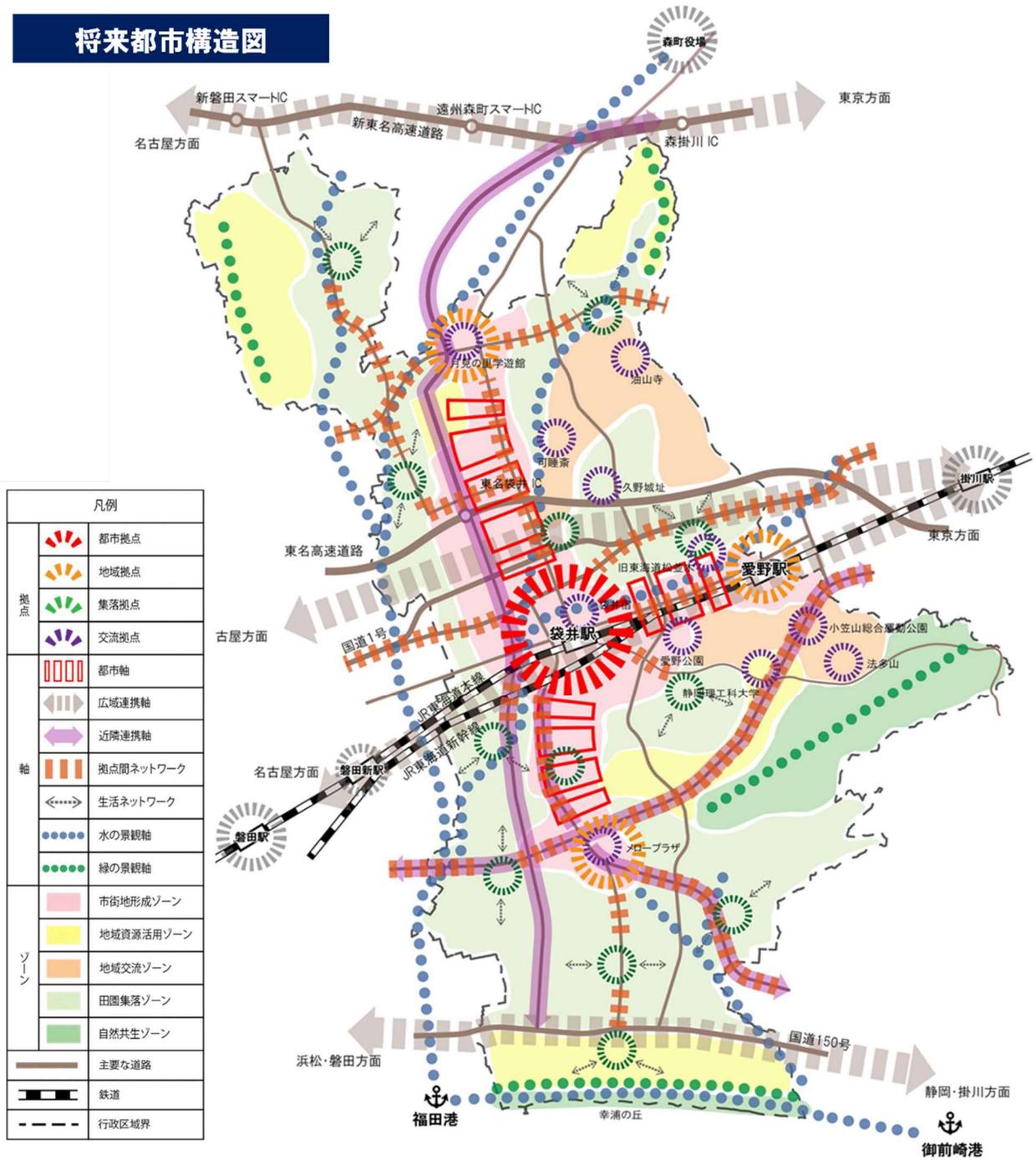
- ・交通ネットワークにより安全・安心に誰もが移動できる都市
- ・JR、民間バス、自主運行バス、デマンドタクシー、地域協働運行バス等の適切な役割分担により、地域にとって効率的で効果的な交通体系の形成
- ・子どもから高齢者まで誰もが安全に安心して移動できる空間・移動手段

●公共交通に関連する方針：

ネットワークの維持と充実

- ・JR東海道本線、民間バス、自主運行バス等との連携
- ・バス路線の検討、公共交通相互の乗り継ぎのしやすさ、運行情報の提供等による公共交通の利便性向上
- ・バスの走行環境の改善による定時制の確保

将来都市構造図



1-3 袋井市立地適正化計画（H30年9月策定）

- 計画目的：「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」（平成26年8月施行）に基づき、中・長期的な視点に立ちコンパクトで持続可能な都市づくりを推進するための計画公共交通ネットワークとの連携が求められている
- 計画期間：平成30年度（2019）－ 令和17年度（2035）
- 基本方針：子どもからお年寄りまで いつまでも健康・快適に 歩いて暮らせる都市づくり

